



エコが千代田の自慢です!

# CES 通信

Vol.1 2018 創刊号

千代田のエコを推進しよう!



## 「CES通信」創刊に当たって

これまで CES 会員の皆さまには年間 2 回発行の冊子「エコチヨ」(CES 責任編集版は年 1 回)にて、会の活動報告をしてまいりました。

また、会員相互のコミュニケーションにつきましては、主にウェブサイトでの活性化を想定しておりましたが、このたび、それを補完し、より一層活発なコミュニケーションを促すために、「エコチヨ」に加え、会員専用の紙媒体である「会報」を年 2 回お届けする運びとなりました。

会員の皆さまの「声」を広くお届けできる誌面づくりを目指し、これからもさらに会員相互の情報の受け渡し役となるよう、この会報を育ててまいります。

今後ともご期待、ご協力の程、よろしくお願い申し上げます。

一般社団法人 千代田エコシステム推進協議会  
理事長 大森正之



## 都心でちいさな生態系を実感!!

### ミツバチが教えてくれた環境保全の大切さ



皆さまの中には「都心でミツバチを育ててどうするの?」「環境保全とどんな関係があるの?」などの疑問をお持ちの方も多と思います。

ミツバチは、美味しい花の蜜を集めてくれるだけでなく、植物の受粉のために大きな役割を果たしています。また、皆さんご承知のとおり、植物は光合成により二酸化炭素を吸収し酸素を出す、人間や昆虫、動物が生存するために必要不可欠なものです。

都会での養蜂はこの生態系を守り、活動を通してさまざまな方が自然環境へ関心を持つきっかけにもなり、環境保全にとっても大きな意義をなしています。

「CES 養蜂プロジェクト」は現在、日比谷図書文

化館の屋上に巣箱を置かせていただいております。今年は色々な花々の蜜がたくさんとれました。会員の皆さまの中からも「CES 養蜂サポートボランティア」として、採蜜や内検の作業をお手伝いをして下さっている方々が約 30 名ほどいらっしゃいます。

養蜂プロジェクトも2年目に入り、ミツバチたちは順調に増え続けています。これまでの活動報告やサポートボランティア募集などは CES の HP にてご案内していますので、裏表紙下段 URL または二次元バーコードからアクセスしてご覧ください。



VOICE 01

### サステイナブルなまちづくりを通じ 低炭素な社会づくりへ参画

三菱地所株式会社

当社は2008年のCES発足以来、活動に参画させていただいています。当社グループの基本使命は「まちづくりを通じて社会に貢献する」こと。環境に関するビジョンや基本方針を定め、グループ各社の事業において、社会の低炭素化やCO<sub>2</sub>排出原単位の低減に資する活動を行っています。

区内での例をあげると、丸の内再構築ではサステイナブルディベロップメントを志向し、環境認証を得るビルの提供、一号館広場やホトリア広場等の緑空間の形成、地域冷暖房や再生可能エネルギーの利用、身近なエコの視点を含む多様な環境アクション（テナントを含めた省エネ活動、3×3 Lab Future、通年クールビズ、打ち水、エコキッズ探検隊、皇居外苑漏水浄化 等）に取り組んでいます。築60年の



大手町ビルも、時代をリードする100年ビルを目指し、環境性能の向上を伴うリノベーションを行います。

こうした自らの事業領域での活動に加え、引き続きCESの一員として、低炭素社会の形成に寄与していきます。

VOICE 02

### ミツバチの活動を支える 「千代田」の花資源を実感!!

CES養蜂サポートボランティア 藤田 弥弥

パリのオペラ座に置かれている巣箱を10数年前にテレビ番組で見て以来、いつか自分も都市養蜂に関わりたいと思っていました。

実際に巣箱を覗いて見ると、卵を産み付ける女王蜂、幼虫を甲斐甲斐しく世話する蜂、サナギの殻を破って羽化しようとする蜂、羽を震わせて温度調整する蜂などミツバチ一家の暮らしが繰り広げられていて、都心の図書館の屋上ということをおぼろしく忘れるようでした。

巣板は艶々とした蜜や、薄い黄色、濃い黄色と色味が違う花粉がみっちり納められていて持ち上げると手にずっしりと重く、緑少ない都心にもミツバチ一家の繁栄を支える花資源があることを実感できる貴重な体験ができました。



ボランティアの皆さん  
(後列一番左が藤田さん)

MEMBER'S VOICE

## CES会員の皆さまよりの声

このコーナーでは、環境への取り組みや日々感じたことなど、エコに関する皆さまの声を掲載してまいります。

VOICE 03

### 再生可能エネルギー「地中熱」 区内活用で認知度向上!!

NPO法人地中熱利用促進協会 笹田 政克

地中熱は日本中どこでも利用できます。一番町笹田ビルに地中熱ヒートポンプを導入して今年で10年になります。導入した当初は認知度がゼロに近く、珍しがられたものですが、大きな原発事故があり、パリ協定で温暖化対策が進む中で、地中熱は再生可能エネルギーの一つとして認知度が向上してきました。

しかし、一般の方にはまだほとんど理解されていません。ビルでの見学会は300回を超え、千代田区の皆様にも多数見ていただきました。そのこともあってか2年前に向かい側に建設された麹町保育園にも地中熱が導入されました。

これからはCESの活動を通して、もっと多くの方に地中熱を理解していただきたいと思っています。



写真:車2台分の駐車場に75mの地中熱交換器が8本埋設されており、見学者が見ているボックスを経由してヒートポンプに接続される。テナントビルの1~3階の約300㎡の冷暖房を行う。空調更新前のシステムと比べ49%の省エネを実現。

NPO法人地中熱利用促進協会 <http://www.geohpaj.org>

VOICE 04

### 夫婦二人三脚で、微笑み、 ふれあい「エコ活動」を実践

正会員・環境配慮宣言店「2×3スリーレグ」代表 白土 英男

《2×3スリーレグ》は飯田橋で夫婦2人で営業している長崎ちゃんぽんのお店です。店名は「二人三脚」という意味です。小さな店なのでエコ活動も小さな活動です。区が推進している「リサイクル回収」や新聞販売店の「古紙回収」など微力ですが、エコ活動に楽しく参加しています。

「くじ付きうちわ」はお客さまに大好評です。当たった方はニコリされて、いかつい男性の方も照れくさそうに「娘にもらっていくか」とおっしゃる笑顔がとてもステキです。はずれた方も「暑いですからお



千代田区飯田橋1-11-6  
飯田橋駅・九段下駅から徒歩7分くらい

使いください」と言うと「お！うちわか、イイな」と喜んでおおぎながら帰られます。また、スタッフがうちわや景品を入れて来てくださる袋はエコバッグとしても利用できる等、不用な物は作らない姿勢には共感します。私達も、不用な物は作らないように、また不用になったらリサイクルを心がけていきたいと思っています。



## キャンペーン

【「環境配慮宣言」でCO<sub>2</sub>排出量削減に取り組みましょう!】

## キャンペーン参加店による「くじ付きうちわ」配付(7月~9月)

## 昨年引き続き、ただいま大好評配布中!!

このキャンペーンは、「環境配慮宣言」によって節電やゴミの減量などの「CO<sub>2</sub> 排出量削減」活動に参加の商店・飲食店・個人事業主の方々が、各店舗でお客さまに景品があたる「くじ付きうちわ」を配付し、受け取られたお客さまに、うちわに記載されている個人が日常的にできる「エコ活動」を実践してもらい、区民レベルでの「CO<sub>2</sub> 排出量削減」活動推進の裾野が広がることを目的とした取り組みです。

国から「環境モデル都市」に選定されている千代田区は、区民や事業者が参加して「住み、働く人々が協力し合う環境にやさしいまち」を作っていくことを目指しています。「環境配慮宣言」による、「CO<sub>2</sub> 排出量削減」活動は区の理念を実践し、さらに各事業所の経費削減につながるメリットにもなります。

CES では、こからもより多くの事業者の方々に「環境配慮宣言」をしてもらい「CO<sub>2</sub> 排出量削減」活動へ取り組んでいただくよう促してまいります。

- 参加店舗募集期間：7月~9月/参加店舗：38店舗/各店舗に配付したうちわ：200枚 うち 当たりのうちわ：140枚/景品の数：140個

温暖化ガスを削減しよう ←うちわ表面

### 環境モデル都市千代田

- 電気はこまめに消しましょう
- エアコンの設定温度を27度に
- 節水に心がけましょう
- ゴミは分別していますか
- 2~3Fなら階段を使いましょう

主 催 一般社団法人千代田エコシステム推進協議会  
共 催 千代田区商店街振興組合連合会  
協賛企業 大塚製菓 大塚商会 他  
後 援 千代田区

おめでとうございます  
「環境くじうちわ」

2024年度までにCO<sub>2</sub>排出量を80%削減することを目標としています

環境配慮宣言

千代田エコシステムに協力しています

一般社団法人千代田エコシステム推進協議会  
〒100-0001東京都千代田区千代1-1-1 TEL:03-5271-9189 FAX:03-5271-9189

▲「環境配慮宣言」をしたお店に配付されるステッカー。店頭に貼り、環境に配慮しているお店であることをPRできます。 ▲うちわ裏面

## 平成30年度定時総会及び理事会開催の報告

平成30年5月31日、千代田区役所4階401会議室において定時総会が開催され、平成29年度の事業報告、決算報告及び平成30年度事業計画、それに伴う予算案が議決されました。また、役員任期満了(任期は2年)により、理事・監事が選任されました。その後の第1回理事会で、協議の結果、理事長に大森正之氏、副理事長に秋山利昭氏・山田勝己氏、監事には河合芳則氏・高梨幸彦氏が選任され就任いたしました。

平成30年度  
定時総会を  
終えて

## 三題噺：パリ協定・環境マネジメント・養蜂事業

一般社団法人 千代田エコシステム推進協議会 理事長 大森正之



定時総会会場の様子

本年度のCES総会では、副理事長の秋山利昭氏から、パリ協定の決議を踏まえたわが国の地球温暖化対策に関する現状報告を、環境行政の担当者の方々からCES関係者の皆さまへご提供いただき、議論を深めるシンポジウム開催の提案がありました。

また千代田区の区有施設において指定管理事業を担われている企業の皆さまへの区独自の環境マネジメントシステムの普及について、副理事長の山田勝己氏から推進方針が、区からはその支援について、報告されました。

さらに、ご自宅のビルでミツバチを飼われたことのある会員の方から、現在、日比谷図書文化館の屋上で行っている養蜂事業と温暖化対策の関連についての質問がありました。理事長の私からは、養蜂事業を契機とする会員募集の推進と、会員の皆さまへの温暖化対策に関するさまざまな情報交流の場や、対策推進に優れた企業や対策機器の製造・販売・設置を行う企業への施設見学会への勧誘による啓発機会の創出・拡大の意義についてお答えしました。

また可能であれば、温暖化対策として、区内のオフィスビルやマンションの屋上で、花が咲き蜜が採れる植物による緑化を推進するためにも、養蜂事業の収益を屋上緑化の支援に活用したいとの希望を述べさせていただきました。今後とも会員の皆さまには以上の3事業を含むCESのさまざまな事業に、一層のご協力をいただきたく存じます。

### 千代田エコシステム監査・認証(クラスⅢ)導入について

各事業者が構築、運用している環境マネジメントシステムが千代田区独自のCES規格に基づいていることを、公平な立場の機関(認証機関)が審査し、認証します。この取り組みをCESでは、クラスⅢと呼んでいます。

国際規格ISO14001の認証には、お金と時間がかかるのに対し、千代田区が定めたCESは簡易で安価に運用でき、各事業所が一から独自で企画・運用するより信頼性が高まります。また、毎年1回、認証機関がその継続性を確認し、更に、組織に合った環境システムへ見直すことで、よりよい環境配慮行動へつなげることができます。



H30年度  
開催予定の  
イベントの  
ご案内



開催日程	イベント名	内容
8/12(日) (開催済)	「大都会の中のマイクロワールドを観察しよう 夏の巻」	(独)国立青少年教育振興機構子どもゆめ基金助成事業として、今年度は3シーズンで開催予定で、PartIIは「夏の巻」。スマホ用顕微鏡を使用し、肉眼では見えない自然を見つけるプログラムを日比谷公園で開催。区内小中学生と保護者を対象。
①9/14(金) 18:00~	講演会・イベントの開催	①《エネルギー基本計画についての講演会》経済産業省は7月に2030年、更には2050年という未来を見据え「第5次エネルギー基本計画」を発表し、それを踏まえ、日本のエネルギーがどうなっていくべきかの指針を中川雅治環境大臣をお迎えしお伺いします。
②未定		②《再生可能エネルギーについてのシンポジウム》詳細は未定
未定	「自然エネルギー利用技術」の見学	区内及び近郊で、例えば「地中熱利用ビル」、「風力発電」等々、自然エネルギーを利用している施設の見学会実施。
10/14(日)	「区民体育大会」参加	CESは参加の各町会より大量に出る、ゴミの分別普及啓発を行います。
10/20(土)	「福祉まつり」参加	毎年、千代田区社会福祉協議会開催「福祉まつり」にCESのブース出展を行い、エコで災害時に役立つ「カッター折り」の普及を行っています。
11月予定	「大都会の中のマイクロワールドを観察しよう 秋の巻」	8/12開催イベントのPartII「秋の巻」です。内容・開催場所は同じです。
12/1(土)	「エコ&サイクルフェア/千代田のエコ自慢」開催	毎年千代田区との共催で、CO <sub>2</sub> 削減に関わる熱心な団体が楽しいブース出展をして来場の方々をお待ちしています。
1月予定	「大都会の中のマイクロワールドを観察しよう 冬の巻」	8/12開催イベントのPartIII「冬の巻」です。内容・開催場所は同じです。

※イベントの詳細は決まり次第HPにてご案内します。イベントへの参加、または、サポートボランティアとしてスタッフ体験をご希望の方は、HPで詳細をご覧いただくか、お電話にてお気軽にお問い合わせください。皆さまのご参加、お待ちしております。



Vol.1 2018 創刊号

発行・編集：(一社)千代田エコシステム推進協議会  
発行日：2018年8月15日

(一社)千代田エコシステム推進協議会

住所：〒102-8688  
千代田区九段南1-2-1 千代田区役所5階  
電話：03-5211-5085 FAX：03-3221-3405  
メール：info@chiyoda-ces.jp  
URL：https://chiyoda-ces.jp

